

科目名	病理組織細胞学実習 (Practice in Histopathology and Cytology)			科目コード	410
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(45時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3年次後期	関連DP	臨①②③
担当教員	則松 良明、細川 翔				
授業概要	病理組織細胞診断では、生体内に存在する物質や疾患に陥った時に初めて出現する物質のうちHE染色やパパニコロウ染色に染まらないものに対して特殊染色(特染)を行う。実習では種々の臓器組織や細胞について線維成分(膠原線維、細網線維、弾性線維、基底膜)の特染、粘液成分(中性粘液多糖類、酸性粘液多糖類)・グリコーゲンの特染、中枢神経の特染に加え免疫組織化学染色を行う。染色された組織標本および細胞診標本について光学顕微鏡で詳細に観察し、特殊染色の理論、意義を学習する。				
授業目標	染色は、本来染まるべき組織・細胞を確実に染色することが重要である。実習ではHE染色および特殊染色について、その理論、技術を習熟するとともに、光学顕微鏡で詳細に観察し、スケッチを行うことで、特殊染色の意義を理解する。				

授業計画

回	項目	内容
1～2	ヘマトキシリン・エオジン(H E)染色	HE染色
3～4	粘液成分、グリコーゲンの特染	過ヨウ素酸シッフ(PAS)染色、アルシアン・ブルー(AB)染色、AB-PAS染色
5～6	線維成分(膠原線維、弾性線維)の特染	アザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色とエラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア・ブルー染色
7～8	線維成分(膠原線維、弾性線維)の特染	アザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色とエラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア・ブルー染色
9～10	線維成分(細網線維)、腎糸球体毛細血管基底膜の特染	渡辺の鍍銀染色と過ヨウ素酸メセナミン銀(PAM)染色
11～12	線維成分(細網線維)、腎糸球体毛細血管基底膜の特染	渡辺の鍍銀染色と過ヨウ素酸メセナミン銀(PAM)染色
13～14	神経線維の特染	ボディアン染色、クリューバー・バレラ染色
15～16	神経線維の特染	ボディアン染色、クリューバー・バレラ染色
17～18	免疫組織化学染色	ストレプトアビジン-ビオチン法による中間系フィラメント(ケラチン・ビメンチン)の免疫染色
19～20	細胞診実習(1)	女性生殖器系材料(塗抹標本)、呼吸器系材料(喀痰、気管支擦過等)のパパニコロウ染色とPAS染色、AB染色
21～22	細胞診実習(2)	体腔液(胸水、腹水)のパパニコロウ染色とPAS染色、AB染色
23	まとめ	実習のまとめとして、染色した標本のディスカッションを行う
成績評価方法	レポート(20%)、筆記試験(80%)で評価する。	
教科書	松原修・鴨志田伸吾・大河戸光章他「臨床検査学講座 病理学/病理検査学」(医歯薬出版) 水口國男・石川喜美男・三瓶接子「カラー版 組織アトラス-正常と病変-」(医歯薬出版)	
参考図書等	水口國男・伊藤機一・設楽政次「最新 染色法のすべて」(医歯薬出版)	
授業時間外の学習について		
関連科目	141, 142, 143 人体の構造・機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
備考	実 則松、細川：臨床検査技師(医療機関)	